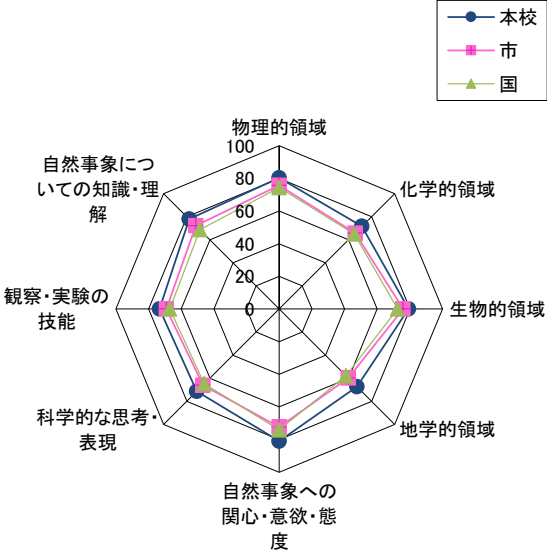


宇都宮市立星が丘中学校第3学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国，市と本校の状況

【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	物理的領域	80.3	75.7	74.4
	化学的領域	71.6	65.8	65.0
	生物的領域	79.2	75.9	72.5
	地学的領域	67.2	59.8	57.8
観点	自然事象への関心・意欲・態度	80.9	72.3	74.0
	科学的な思考・表現	71.3	66.0	64.9
	観察・実験の技能	73.3	69.1	67.0
	自然事象についての知識・理解	77.9	72.1	68.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物理的領域	○光の性質や電気の回路の仕組みなどの基本的な知識や理解は十分に身につけている生徒が多い。 ●像のでき方やオームの法則を使っている計算方法は、十分に理解がされていない生徒が多い。	これまでのように、実験器具を通して、身近な物理的現象についての知識や理解は身に付けさせていく。 像の見え方についての理解は、作図の実習を通して、作図の方法や象のでき方について、時間を十分にとって身に付けさせる。 オームの法則など、物理的法則についても、計算問題を解く機会を増やし、しっかりとした規則性の理解と計算力を身に付けさせていく。
化学的領域	○実験器具の使い方や原子記号、グラフから化学変化の状態を読み取るような基本的な知識や理解は、十分に身につけている生徒が多くみられる。 ●水溶液の濃度の求め方や、実験の結果からの新たな考えを導く思考力が不足している生徒が多くみられる。	これまでのように、化学実験を通して、基本的な知識や理解を身に付けさせていく。 濃度や密度などの計算問題を解く機会を多く設定する。 実験の結果を求めてから、考察するまでの時間を十分にとっていく。
生物的領域	○動物の分類や、植物の体のつくりやはたらきについてはよく理解し、知識も十分に身に付けている生徒が多くみられる。 ●人体の体のつくりやはたらきについては、理解が十分になされていない生徒が多くみられる。	動物や植物は、これまでのように、身近な教材を用いて生徒の興味関心を高めつつ、理解を深めていく。 人体の体のつくりやはたらきは、模型や図版を使用し、具体物に近い形で提示し、視覚的に理解できる授業が展開できるようにする。
地学的領域	○気象や地質分野の基本的な知識は十分に理解している生徒が多くみられる。 ●天気図を読み取る力が不十分な生徒が多くみられる。	基本的な知識は、これまでのように、身近な現象と関連させて、身に付けさせていく。 天気図の読み方が不十分なので、実際の天気情報から天気図を作成し、天気予報を考えさせる機会を設定する。